

業種 運輸業、郵便業

マルエーフェリー株式会社

〒892-0822 鹿児島市泉町16-4 産業ビル1F

設立 1953年12月

資本金 4億5500万円

従業員数 陸上103名・海上104名



事業内容 マルエーフェリーは、鹿児島航路（鹿児島～奄美群島～沖縄）、東京航路（東京～名古屋～志布志～沖縄）、阪神航路（神戸～大阪～志布志～奄美大島～沖縄）、北九州航路（北九州～沖縄）などにおいて、一般旅客定期航路事業、内航海運業、港湾運送事業、陸上運送事業など、**船による観光・交通・物流全般の事業を幅広く展開**しています。1953年の設立以来、フェリーと貨物船で離島の暮らしを安全運航を第一に支えています。また2022年には、【かごしま働き方改革推進企業】にも認定されており、**若手社員も多く、コミュニケーションも盛んで風通しの良い活気ある職場**です！

「安全は、すべてに優先する」
人々の生活の足として、離島に暮らす方のライフラインとして。

運輸への意識と意外な商品

船での運搬物には様々なものがあります。中でも、特に注意が必要なものについて尋ねてみました。岩川さん曰く、運輸中は全ての商品を丁寧に扱う必要があるため、どんな商品であっても、常に注意して運ぶそうです。輸送中の不手際によって、商品に欠陥が生じたり、けが人が出てしまったりするかもしれないリスクもあるため、**常に気を抜かず、事故の防止に努める姿勢が大切**だと。さらに運輸に関する話を聞いていくと、予想もつかないような意外な商品が船によって運ばれていることもわかりました。中でも特に印象に残ったのは芝生。芝生は船によって鹿児島の志布志港から関東、関西、沖縄、奄美などの全国各地に運ばれているそうです。実は、大隅方面での芝生の生産量の多さが関係しているようで、船によって運ばれた鹿児島産の芝生は、日本全国のスタジアムやゴルフ場などで使用されているそうです。

それぞれの印象に残ったお仕事

営業（貨物）担当の岩川さんは、入社1～2年目に任されたトレーラー関係の仕事が印象に残っているそうです。従来、荷作業は行わないが、そのときはドライバーさんの気持ちを理解するために、荷台に20トン分の水の積み込みを行ったらしく、「大変な仕事だったが、現場の様子を知るためには、必要な経験だったのかもしれない」と振り返ってくれました。

営業事務（沖縄貨物）担当の菅田さんは、3月の年度末に行われる、異動者のお見送りの様子が印象に残っているそうです。普段は、港の傍の事務所の中で仕事をしているそうですが、見送りの際に、歌を歌ったり、太鼓をたたいた



左：菅田さん／右：岩川さん



●フェリーあけぼの。鹿児島市を出港し奄美群島～沖縄を運航。



●人を運ぶ旅客だけでなく、機材や車など多くの生活用品を運ぶ物流の役割も持つ。



●企業理念。人々の生活を支える大切な仕事だからこそ、安全第一に。



てメールを送る人々の声を事務所の中にも感じることができるそう。ときには、事務所のペランダに出て、異動する人たちをお見送りすることもあるが、送られる人、見送る人々の姿を見ると、とても感動してしまうそうです。

フェリー運航に関する職場の環境

「安全は、すべてに優先する」という理念のもと、フェリーを運航しています。各セクションで貨物を取り扱う注意点や危険性を確認して、安全な作業を心がけているそうです。港では多くのフォークリフトが作業しているため「右よし、左よし。」の指さし呼称で事故・災害ゼロを目指しており、「職員が安全に対する意識を持つこと、持ち続けることが大切です」と岩川さんは話してくれました。時間通りにフェリーを運航するために、港のスタッフ全員が無線を持ってチームワークを発揮。台風時は同じ運航ルートの同業他社とも協力合います。離島で必要な貨物（生鮮食品、牛乳、お肉、冷凍食品などの食料品）の優先順位を決めて、他船と協力して運航。助け合いの精神で、離島に住む人々の暮らしを支えています。

仕事の印象

岩川さんは、離島出身でフェリーへのなじみが深かったことから入社を決意。入社前は旅客船の印象が強かったそうです。旅客船は鹿児島と離島、沖縄を結ぶ航路があり、ホームページや SNS で船旅の魅力も発信。貨物船は東京航路、阪神航路、北九州航路があります。貨物担当となって、いろいろな貨物を輸送していることに気づいたそうで「貨物営業を任されるようになったのが嬉しい。知らない世界を経験できることに仕事の面白さを感じる」と話してくれました。

菅田さんは、日常生活でフェリーを見る機会が多かったことがきっかけで、小さい頃から身近に感じていた会社で働きたいと思い入社したそうです。沖縄貨物では牛、豚、馬など動物も運んでいます。「生き物や日常生活に必要なモノを運べるのがフェリーの魅力。無事に配達完了しお客様から御礼の言葉をいただいたときやりがいを感じる」のだそうです。

仕事をする際に大切なこと

お二人は、仕事をするうえで4つのことを大切にしているようです。1つ目は、仕事に優先順位をつけること。複数の仕事を同時に引き受けた際に特に意識しているそうです。2つ目は、時間を意識すること。時間内に業務を終わらせるために、目標時間を設定してから取り組むことが大切だと。3つ目は、上司や先輩、代理店へ報告する際に、簡潔にわかりやすく報告すること。報告の際、電話での対応となることもあり、対面以上に丁寧にわかりやすく伝えられるように、言葉遣いや言い回しを意識しているそうです。4つ目は、できるだけレスポンスを速くすること。積み込みスペースには限りがあるため、案件をできるだけ速く引き受けることが大切だと考えているからだそうです。これら4つのことを意識して、お二人は日々の仕事をこなしているのだとか。

〈担当から学生へのコメント〉

地域社会、地域住民の繁栄に貢献したい方、情熱やスキルを活かし、会社の発展と一緒に自分も成長したい方におすすめの会社です。貴重なキャリアの一步を経験できる会社だと思います！

総務部 課長 石塚



～取材後の感想～



鹿児島大学
きょうぺい

小学生時代に、担任の先生の出港式に参加したとき以来の港でした。当時とは全く違った視点から取材を行うことができました。



鹿児島大学
ゆいびー

明るく楽しい職場でした！インタビューを通して、部活動もバイトもより一層頑張ろうと思いました。



鹿児島大学
ゆな

「フェリーに親しみがあった」という話から、自分にとって親しみのある分野には「働きたい」と感じる魅力があることに気付きました。